D-Link DFL-210/260/800/860 1600/2500 Network Security Firewall

設置マニュアル

ご注意

本書は、本シリーズの仕様、設置方法など使用するために必要な基本的な取り扱い方法を記載しています。各製品ごとの機能の説明および設定方法については、ユーザマニュアルをご覧ください。

安全にお使いいただくために

安全上のご注意　必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視し、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
⚠注意	この表示を無視し、まちがった使いかたをすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味　⊘ してはいけない**「禁止」**内容です。　❗ 必ず実行していただく**「指示」**の内容です。

⚠警告

分解禁止　分解・改造をしない
機器が故障したり、異物が混入すると、やけどや火災の原因となります。

禁止　落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
故障の原因につながります。

禁止　発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない
感電、火災の原因になります。
使用を止めて、ケーブル / コード類を抜いて、煙が出なくなってから販売店に修理をご依頼してください。

ぬれ手禁止　ぬれた手でさわらない
感電のおそれがあります。

水ぬれ禁止　水をかけたり、ぬらしたりしない
内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。

禁止　油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しいところでは使わない
火災、感電、または故障のおそれがあります。

禁止　内部に金属物や燃えやすいものを入れない
火災、感電、または故障のおそれがあります。

禁止　表示以外の電圧で使用しない
火災、感電、または故障のおそれがあります。

禁止　たこ足配線禁止
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。

禁止　設置、移動のときは電源プラグを抜く
火災、感電、または故障のおそれがあります。

禁止　雷鳴が聞こえたら、ケーブル / コード類にはさわらない
感電のおそれがあります。

禁止　ケーブル / コード類や端子を破損させない
無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、ケーブル / コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障につながります。

禁止　正しい電源ケーブル、コンセントを使用する
火災、感電、または故障の原因となります。

禁止　乳幼児の手の届く場所では使わない
やけど、ケガ、または感電の原因になります。

禁止　次のような場所では保管、使用をしない
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・動作環境範囲外

禁止　光源をのぞかない
光ファイバケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

⚠注意

❗ 静電気注意
コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。

❗ コードを持って抜かない
コードを無理に曲げたり、引っ張りますと、コードや機器の破損の原因となります。

❗ 振動が発生する場所では使用しない
接触不良や動作不良の原因となります。

禁止　付属品の使用は取扱説明書にしたがう
付属品は取扱説明書にしたがい、他の製品には使用しないでください。機器の破損の原因になります。

電波障害自主規制について

DFL-210/260/1600/2500 は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

DFL-800/860 は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書の記載に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。
また、必ず本書、ユーザマニュアル、および同梱されている製品保証書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項にしたがってご使用ください。

- 本書および同梱されている製品保証書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本書および同梱されている製品保証書は大切に保管してください。
- 弊社製品を日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用の前にご確認ください。また、テクニカルサポートご提供のためにはユーザ登録が必要となります。

http://www.dlink-jp.com/

1　ご使用になる前に

1.1 本製品の特長

D-Link の DFL シリーズは、スモールオフィスからエンタープライズまでのネットワーク環境においてハッカーによる不正アクセスやウィルス感染など外部の脅威からネットワークを防御し、高速で安全性の高いネットワークインフラを提供する次世代型ファイアウォールシステムです。
DFL-800/860/1600/2500 は D-Link xStack スイッチと連携して不正アクセスを防止する D-Link 独自の Zone Defense アーキテクチャを実装しています。これにより WAN 側からの不正防御だけではなく、ワームなどの LAN 側からの不正アプリケーションからもネットワークを守り、形成されるネットワークゾーンに対してシームレスに高セキュリティを提供することができます。
DFL-260/860 は様々な製品ラインをネットワークで統合するために設計された高性能 NetDefend UTM（Unified Threat Management）ファイアウォールシステムです。これらは、多種多様なネットワークの脅威から小中規模のオフィスを保護する強力なセキュリティソリューションで、リモートルーティング NAT、VPN、プロアクティブなネットワークセキュリティ、侵入防止システム (IPS)、Web コンテンツ フィルタリング (WCF)、アンチウィルス (AV) 保護、トラフィックロードバランシング、および詳細な帯域管理を提供します。コンパクトなデスクトップシャーシにすべて搭載されており、既存のネットワークに容易に統合することができます。

特長

- コンテンツフィルタリング / 侵入検知
- ZoneDefense 機能 [*1]
- インスタントメッセージ (IM)/P2P ブロック 防御
- DoS 攻撃防御
- VPN セキュリティ
- URL/E-Mail フィルタリング
- Java スクリプト /Active X/Cookie フィルタリング
- WAN トラフィックフェイルオーバ
- 高可用性のためのアクティブ / パッシブモード [*2]
- トラフィックロードシェアリング / ロードバランシング
- ポリシーベースルーティング
- Web ブラウザや CLI による設定 / 管理
- ログ取得とリアルタイムモニタ
- アンチウィルス機能 [*3]
- サブスクリプションサービス（オプション）[*3]
- ハードウェアベース UTM アクセラレータ [*3]
- RoHS 指令対応

[*1] DFL-800/860/1600/2500 のみ対応しています。
[*2] DFL-1600/2500 のみ対応しています。
[*3] DFL-260/860 のみ対応しています。

1.2 パッケージの内容を確認する

DFL-210/260/800/860/1600/2500 には以下のものが同梱されています。
同梱物がすべてそろっているかをはじめにご確認ください。
万一、不足しているものがありましたら、弊社ホームページにてユーザ登録を行い、サポート窓口までご連絡ください。

DFL-210/260

□ 本体 □ 電源アダプタ □ RS-232C コンソールケーブル □ イーサネットケーブル（クロス）
□ イーサネットケーブル（ストレート）□ CD-ROM □ 製品保証書

DFL-800/860

□ 本体 □ 電源アダプタ □ 電源ケーブル □ RS-232C コンソールケーブル
□ イーサネットケーブル（クロス）□ イーサネットケーブル（ストレート）
□ ラックマウントキット □ CD-ROM □ 製品保証書

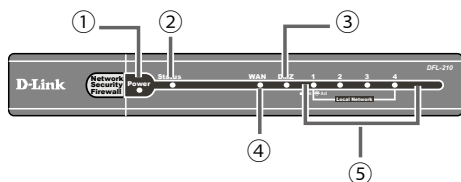
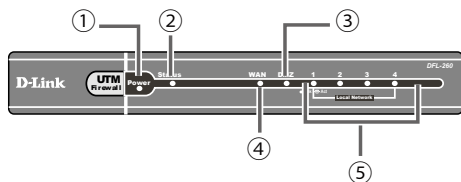
DFL-1600/2500

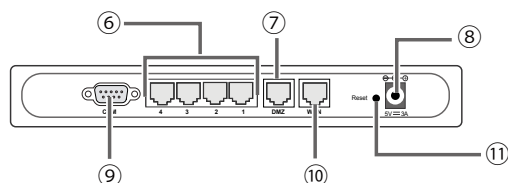
□ 本体 (DFL-1600、または DFL-2500) □ 電源ケーブル □ RS-232C コンソールケーブル
□ イーサネットケーブル（クロス）□ イーサネットケーブル（ストレート）
□ ラックマウントキット □ CD-ROM □ 製品保証書

1.3 各部の名称と働き

DFL-210/260

前面

DFL-210

DFL-260

背面

DFL-210/260

⑥ LAN（10BASE-T/100BASE-TX）ポート
10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。

⑦ DMZ（10BASE-T/100BASE-TX）ポート
10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。

⑧ 電源コネクタ
付属の電源アダプタを接続します。

⑨ コンソールポート
RS-232C(D-Sub9 ピン) ケーブルを接続します。

⑩ WAN（10BASE-T/100BASE-TX）ポート (MDI?)
10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。

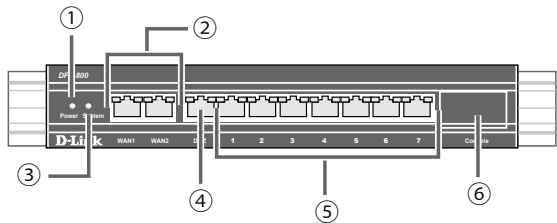
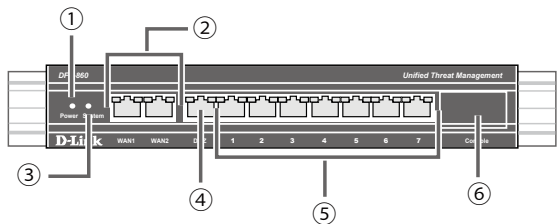
⑪ リセットボタン
すべての設定を工場出荷時設定に戻します。

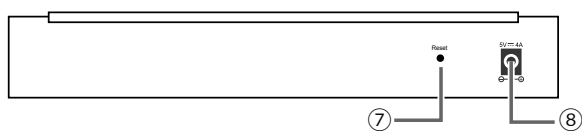
ステータス LED

LED	色	状態	内容
① Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
② Status	緑	点灯	システムが正常に動作しています。
	緑	点滅	システムがファームウェアの更新失敗などを検出しました。
	ー	消灯	システムが動作していません。
③ DMZ	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	ー	消灯	リンクが確立していません。
④ LAN	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	ー	消灯	リンクが確立していません。
⑤ WAN	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	ー	消灯	リンクが確立しています。

DFL-800/860

前面

DFL-800

DFL-860

背面

DFL-800/860

② WAN1、WAN2（10BASE-T/100BASE-TX）ポート（MDI?）
10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。
④ DMZ（ 10BASE-T/100BASE-TX）ポート
10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。
⑤ LAN（10BASE-T/100BASE-TX）ポート
10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。
⑥ コンソールポート
RS-232C(D-Sub9 ピン) ケーブルを接続します。
⑦ リセットボタン
すべての設定を工場出荷時設定に戻します。
⑧ 電源コネクタ
付属の電源アダプタを接続します。

ステータス LED

LED		色	状態	内容
① Power		緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
② WAN1/WAN2	右側 LED	緑	点灯	リンクが確立しています。
		緑	点滅	データを送受信しています。
		ー	消灯	リンクが確立していません。
	左側 LED	緑	点灯	100Mbps で動作中です。
		ー	消灯	10Mbps で動作中です。
③ System		緑	点灯	システムが正常に動作しています。
		緑	点滅	システムがファームウェアの更新失敗などを検出しました。
		ー	消灯	システムが動作していません。
④ DMZ	右側 LED	緑	点灯	リンクが確立しています。
		緑	点滅	データを送受信しています。
		ー	消灯	リンクが確立していません。
	左側 LED	緑	点灯	100Mbps で動作中です。
		ー	消灯	10Mbps で動作中です。
⑤ LAN	右側 LED	緑	点灯	リンクが確立しています。
		緑	点滅	データを送受信しています。
		ー	消灯	リンクが確立しています。
	左側 LED	緑	点灯	100Mbps で動作中です。
		ー	消灯	10Mbps で動作中です。

DFL-1600

① LCD パネル
　本製品の操作メッセージおよび各種ステータスを表示します。
③ LCD パネル用キーパッド
　キーを使用して LCD パネルを操作します。
⑤ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート
　10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上、1000BASE-T の場合はエンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。
⑥ コンソールポート
　RS-232C(D-Sub9 ピン) ケーブルを接続します。
⑦ ファン
　本製品内部の熱を逃がすファンです。
⑧ 電源コネクタ
　電源ケーブルを接続します。
⑨ 電源スイッチ
　電源をオンまたはオフにします。

ステータス LED

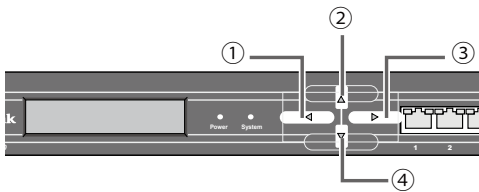
LED		色	状態	内容
② Power		緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
③ System		緑	点灯	システムが正常に動作しています。
		緑	点滅	システムがファームウェアの更新失敗などを検出しました。
		ー	消灯	システムが動作していません。
⑤ LAN/DMZ/WAN ポート	右側 LED	緑	点灯	リンクが確立しています。
		緑	点滅	データを送受信しています。
		ー	消灯	リンクが確立していません。
	左側 LED	橙	点灯	1000Mbps で動作中です。
		緑	点灯	100Mbps で動作中です。
		ー	消灯	10Mbps で動作中です。

DFL-2500

① LCD パネル
　本製品の操作メッセージおよび各種ステータスを表示します。
③ LCD パネル用キーパッド
　キーを使用して LCD パネルを操作します。
⑤ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート
　10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上、1000BASE-T の場合はエンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。
⑥ コンソールポート
　RS-232C(D-Sub9 ピン) ケーブルを接続します。
⑦ ファン
　本製品内部の熱を逃がすファンです。
⑧ 電源コネクタ
　電源ケーブルを接続します。
⑨ 電源スイッチ
　電源をオンまたはオフにします。

ステータス LED

LED		色	状態	内容
② Power		緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
③ System		緑	点灯	システムが正常に動作しています。
		緑	点滅	システムがファームウェアの更新失敗などを検出しました。
		ー	消灯	システムが動作していません。
⑤ LAN/DMZ/WAN ポート	右側 LED	緑	点灯	リンクが確立しています。
		緑	点滅	データを送受信しています。
		ー	消灯	リンクが確立していません。
	左側 LED	橙	点灯	1000Mbps で動作中です。
		緑	点灯	100Mbps で動作中です。
		ー	消灯	10Mbps で動作中です。

LCD パネルとキーパッド（DFL-1600/2500)

キーパッドの名称
①「Back」ボタン
② 未使用
③「Confirm」ボタン
④「Next」ボタン

スタートアップメニューの操作手順

1. 電源投入後、LCD パネルには「Press Keypad to enter setup」と表示されます。

2. キーパッド上のいずれかのキーを押し、スタートアップメニューを表示します。

3. 以下のとおりスタートアップメニューを選択します。キーを押さずに 5 秒経過すると、システムは自動的に開始します。5 秒以内にキーを押した場合、以下の 2 つのメニューが表示されます。

メニュー	内容
Start Firewall	デバイス内に保存されている設定を使用して、システムを開始します。
Reset Firewall	工場出荷時設定を使用して、システムを開始します。本メニューを選択すると、デバイス内の設定は削除されます。

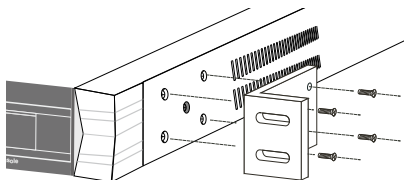
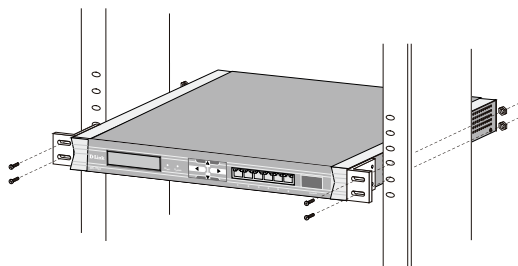
4. システムの起動が完了すると、LCD パネルはデバイスのステータスおよび情報の表示が可能となります。キーパッドを使用して、希望する表示オプションを選択します。

LCD パネルに表示可能なステータスと情報

表示項目	内容
Model name:	デバイスのモデル名を表示します。
System Status:	システムの動作ステータスを表示します。
CPU Load: Connections:	CPU の使用率と現在のセッションを表示します。
Total BPS: Total PPS:	1 秒あたりの現在のトラフィック統計情報を表示します。 1 秒あたりの現在のパケット統計情報を表示します。
Date: Time:	デバイスの現在の日付を表示します。 デバイスの現在の時刻を表示します。
Uptime: Mem:	デバイスの再起動後の動作時間を表示します。 システムメモリの使用率を表示します。
IDS sigs:	IDS シグネチャ情報を表示します。
wan1: / wan2: / wan3: / wan4: dmz: lan1: / lan2: / lan3:	各インタフェースの IP アドレスを表示します。
Core version:	本ファイアウォールのファームウェアバージョンを表示します。

19 インチラックへの設置（DFL-800/860/1600/2500)

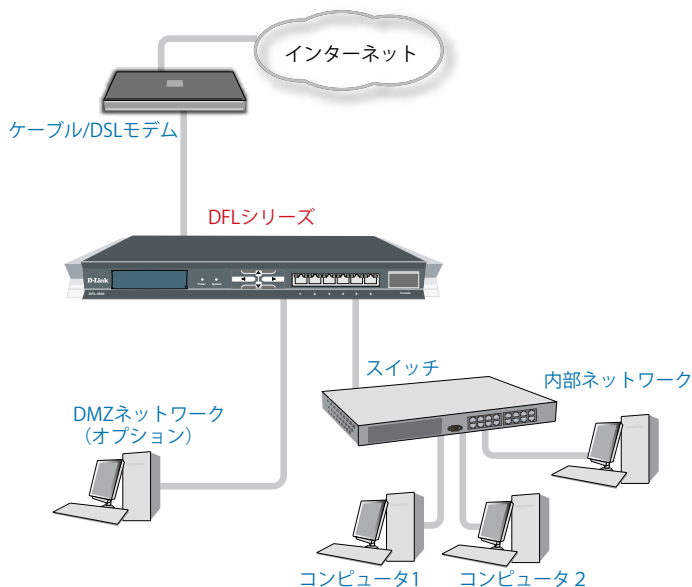
1. 電源ケーブルおよびケーブル類がシャーシ、拡張モジュールに接続していないことを確認します。

2. 付属のネジで、本製品両側側面にブラケットを取り付けます。

3. 19 インチラックに付属のネジを使用し、シャーシをラックに固定します。

注意 本製品をラックに固定するネジは付属品に含まれません。別途ご用意ください。

1.4 本製品の接続

設置する場合の注意

はじめに「安全にお使いいただくために」（2 ページ）をお読みください。また、設置する際には以下の点に注意してください。

- 直射日光のあたる場所、高温多湿となる場所、または電磁波の影響の大きい場所を避けて設置してください。
- 不安定な場所や傾いた場所に設置しないでください。
- 本製品の通気口をふさがないでください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 必ず付属の UTP ケーブル、電源ケーブル、電源アダプタをご使用ください。

1. ケーブル /DSL モデムの電源をオフにする
ご使用のケーブルモデムまたは DSL モデムの電源をオフにします。電源スイッチがない場合には、電源アダプタを抜いてください。本製品の電源をオンにするまで、モデムの電源はオフの状態にします。

2. 本製品の電源をオンにする
DFL-210/260/800/860 の場合
本製品の背面パネルの電源コネクタに電源アダプタを接続します。DFL-800/860 の場合はさらに電源アダプタに電源ケーブルを接続します。
続いて電源プラグをコンセントに接続します。

DFL-1600/2500 の場合

本製品の背面パネルの電源コネクタに電源ケーブルを接続します。
電源プラグをコンセントに接続し、電源スイッチをオンにします。

製品前面パネルにある Power LED が点灯します。
また、システムが動作可能状態になると Status LED（DFL-210/260) または System LED（DFL-800/860/1600/2500）が点灯します。

3. ケーブル /DSL モデムと本製品を接続する
ケーブルモデムまたは DSL モデムと本製品前面パネルの WAN ポート（DFL-800/860 は WAN1 ポート、DFL-1600 はポート 4、DFL-2500 の場合はポート 6）を UTP ケーブルを使用して接続します。

4. ケーブル /DSL モデムの電源をオンにする
ケーブルモデムまたは DSL モデムの電源をオンにし、本製品の WAN（DFL-210/260/800/860）または LAN（DFL-1600/2500）LED が点灯することを確認します。

5. 本製品とハブ / スイッチを接続する
本製品の前面パネルの LAN ポートとご使用のネットワークのハブまたはスイッチの LAN ポートを UTP ケーブルで接続します。本製品の LAN ポートの LED が点灯します。

6. 設定用コンピュータを接続する
本製品を設定するために使用するコンピュータを接続します。

2　基本の設定

2.1 Web ブラウザに接続する

ここではご購入後はじめて本製品に Web ブラウザで接続する場合の基本的な手順について説明します。接続用コンピュータの IP アドレスは本製品と同じ IP ネットワークにあわせます。

1. 本製品と設定用コンピュータを UTP ケーブルで接続します。
以下のポートを使用します。
- DFL-210/260/800/860 : LAN ポート
- DFL-1600 : ポート 4
- DFL-2500 : ポート 6

2. 設定用コンピュータの IP アドレスを本製品と同じ IP ネットワークに設定します。ここでは本製品の IP アドレスの初期値「192.168.1.1」を使用します。設定用コンピュータは「192.168.1.x」(x:2 ～ 254 の数字)、サブネットは「255.255.255.0」を指定します。

本製品の初期値は以下のとおりです。

IP アドレス : 192.168.1.1 (DFL-1600 はポート 4、DFL-2500 はポート 6 の初期値)
サブネットマスク : 255.255.255.0
ユーザ名 : admin
パスワード : admin

3. Web ブラウザを起動し、アドレスに「https://192.168.1.1/」を入力します。

アドレス(D)　https://192.168.1.1/

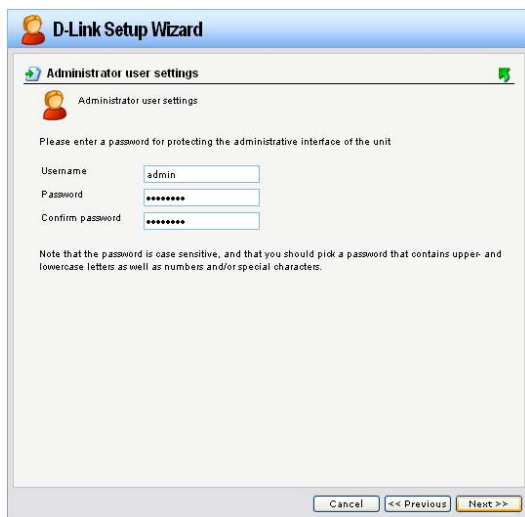
4. セキュリティの警告画面が表示される場合は、「OK」または「はい」をクリックします。

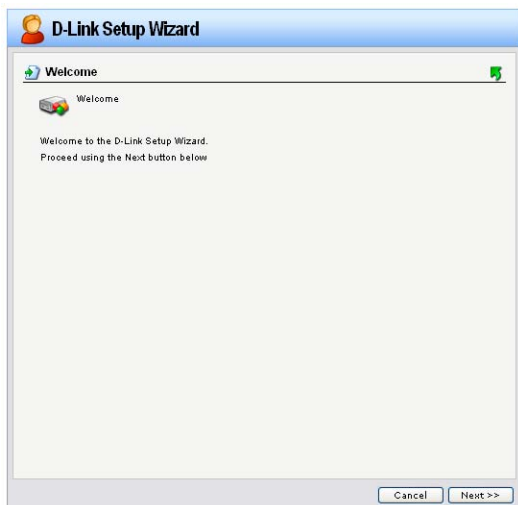
5. 以下の認証ダイアログが表示されます。「Username」と「Password」を入力し、「Login」ボタンをクリックします。ご購入後はじめてログインする場合には、「Username」に「admin」を「Password」に「admin」を入力し、「Login」ボタンをクリックします。

6. 本製品のセットアップウィザード画面が表示されます。

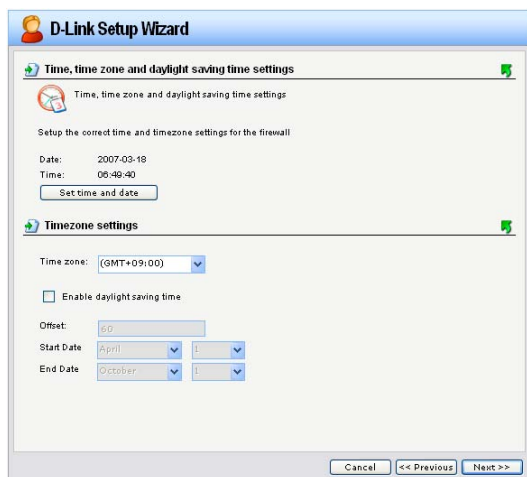
セットアップウィザードは以下の場合に表示されます。

・ご購入後、はじめて本製品に接続する場合。
・Web 画面のメニューバーにある「Maintenance」の「Reset」メニューの「Reset to Factory Defaults」でいずれかのパラメータを選択し、実行した場合。

2.2 セットアップウィザードによる本製品の設定

ここでは、Web ブラウザのセットアップウィザード画面に従って、本製品に基本的な設定を行う手順を説明します。

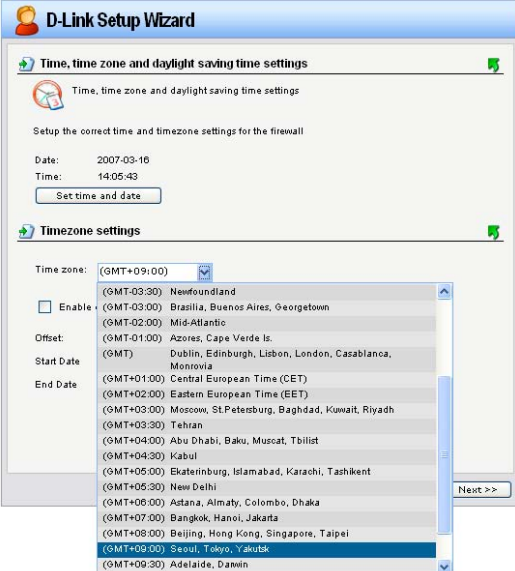
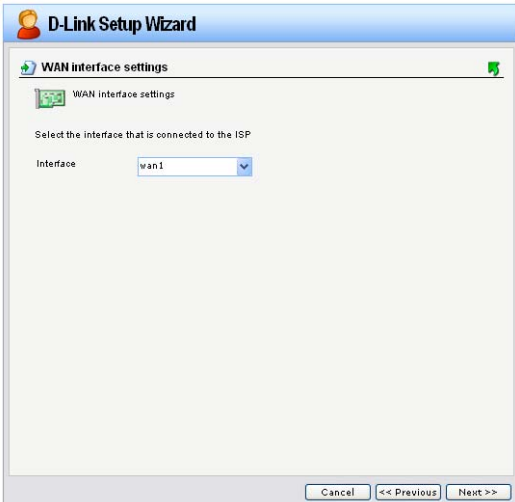
1. セットアップウィザードの「Welcome」画面で「Next」ボタンをクリックします。

2. 本製品の管理アカウントを設定する

本製品の「Username」（管理者名）と「Password」（パスワード）を入力します。「Confirm password」には確認のために指定したパスワードを再度入力し、「Next」ボタンをクリックします。

Username : 半角英数字で入力します。（先頭は英字、大文字小文字の区別あり。）
　　　　　初期値は「admin」です。
Password : 半角英数字で入力します。（大文字小文字の区別あり。）
　　　　　初期値は「admin」です。

ツリービューリストの「User Authetication」>「Local User Databases」>「AdminUsers」によっても設定できます。詳しくはユーザマニュアルを参照してください。

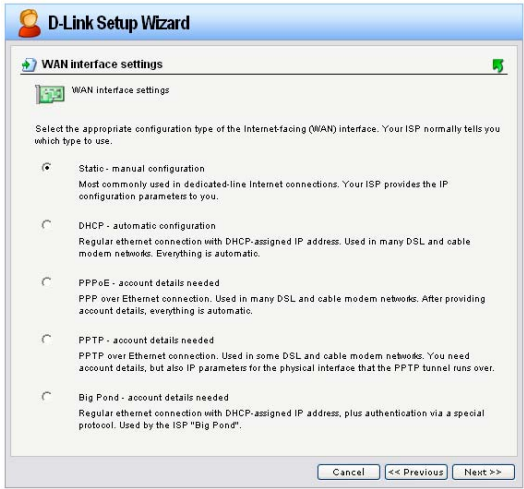
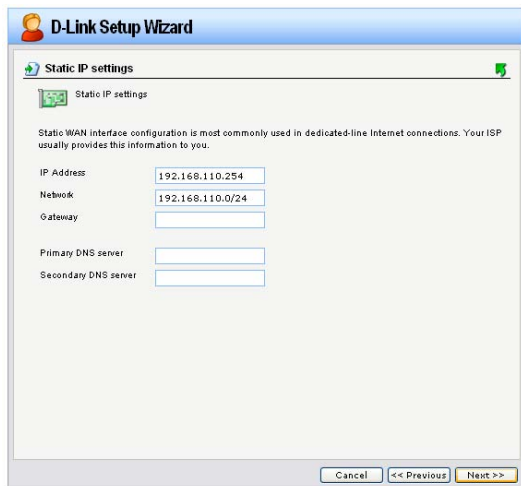
3. 本製品の日付と時刻を設定する

「Set time and date」ボタンをクリックします。

「Set Date and Time」ダイアログで「Date」（日付）と「Time」（時刻）を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

ツリービューリストの「System」>「Data and Time」によっても設定できます。詳しくはユーザマニュアルを参照してください。

4. タイムゾーンとサマータイム（DST:Daylight Saving Time）を設定する
「Timezone settings」の「Time zone」のプルダウンメニューから日本のタイムゾーン「(GMT+09:00)」を選択します。
Daylight Saving Time を設定する場合は、「Enable daylight saving time」にチェックを入れて、「Offset」（オフセット）、「Start Date」（開始日）および「End Date」（終了日）を設定します。

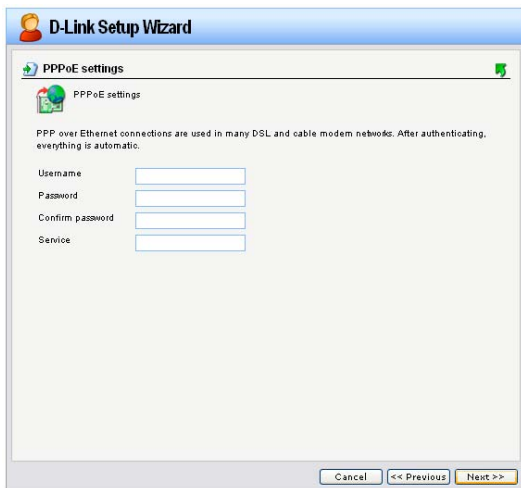
日付、時刻、およびタイムゾーンの設定が終了したら、「Next」ボタンをクリックします。

5. WAN インタフェースを選択する
使用する WAN インタフェースをプルダウンメニューから選択し､｢Next｣ボタンをクリックします。

6. WAN インタフェースのタイプを選択する
使用する WAN インタフェースのタイプを選択し、「Next」ボタンをクリックします。

インタフェースタイプ	内容
Static	WAN 側 IP アドレスを手動で設定します。一般的にインターネットに接続する場合に使用されます。設定する IP アドレスは ISP から通知されます。
DHCP	DHCP サーバより自動的に IP アドレスが割り当てられます。DSL/ ケーブルモデムを使用するネットワークで多く使用されます。
PPPoE	DSL/ ケーブルモデムを使用するネットワークで多く使用されます。アカウント情報を提供した後に自動的に IP アドレスが割り当てられます。
PPTP	いくつかの DSL/ ケーブルモデムを使用するネットワークで使用されます。アカウント情報と PPPTP トンネルが動作する物理インタフェースの IP パラメータが必要です。

選択するインタフェースのタイプについては、ご契約の ISP に確認してください。

ツリービューリストの「Interfaces」の各メニューによっても設定できます。詳しくはユーザマニュアルを参照してください。

7. 各 WAN インタフェースを設定する
手順 6 で選択したインタフェースの設定を行います。

WAN インタフェースー Static IP

ご契約の ISP から通知されている IP アドレス情報に基づいて入力し、「Next」ボタンをクリックします。

WAN インタフェースー PPPoE

ご契約の ISP から通知されているユーザ名、パスワード情報に基づいて入力し、「Next」ボタンをクリックします。

WAN インタフェース－ PPTP

ご契約の ISP から通知されているユーザ名、パスワード、および IP アドレス情報に基づいて入力し、「Next」ボタンをクリックします。

DHCP：ISP が DHCP を使用している場合、「DHCP」ボタンをチェックします。

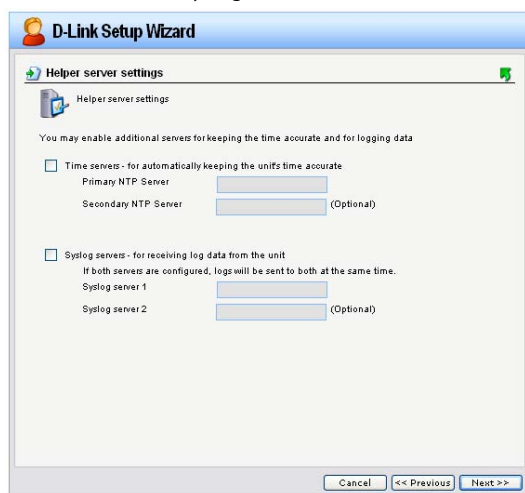
Static IP：ISP が Static IP（固定 IP）を使用している場合、「Static」ボタンをチェックし、続いて通知されている「IP Address」、「Netmask」、「Gateway」入力します。

8. 本製品に搭載されている DHCP サーバを設定する

本製品搭載の DHCP サーバを使用する場合、「Enable DHCP Server」をチェックし、DHCP クライアントに配布する IP アドレスの範囲を指定します。設定後､｢Next｣ボタンをクリックします。

Interface：設定するインタフェースをプルダウンメニューから選択します。
IP Range：クライアントに配布する IP アドレスの範囲を指定します。
Netmask：クライアントに配布する IP アドレスのネットマスクを指定します。
例：
DHCP サーバを使用して IP アドレス「192.168.1.10 ～ 192.168.1.254」を配布する場合、以下の設定を行います。
- **IP Range：**192.168.1.10-192.168.1.254
- **Netmask：**255.255.255.0

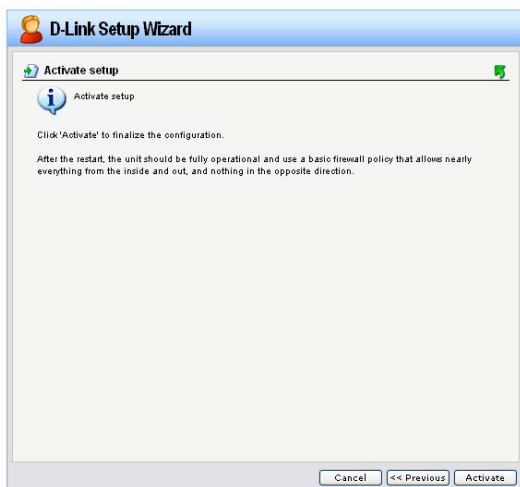
ツリービューリストの「DHCP」>「DHCP Server」によっても設定できます。詳しくはユーザマニュアルを参照してください。

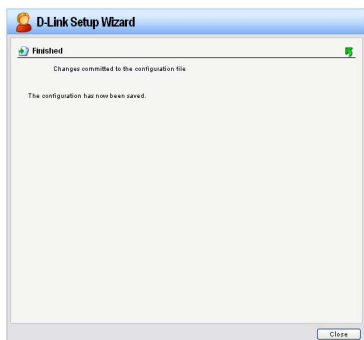
9. その他サーバを設定する
NTP サーバまたは Syslog サーバを使用する場合に設定し、「Next」ボタンをクリックします。

NTP サーバ設定
Time servers：本製品の時刻設定に NTP サーバを使用する場合にチェックします。
Primary NTP Sever：プライマリ NTP サーバの IP アドレスを入力します。
Secondary NTP Server：セカンダリ NTP サーバの IP アドレスを入力します。（オプション）

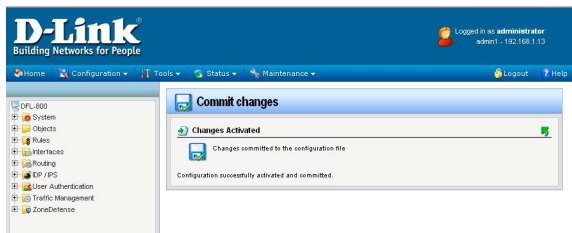
Syslog サーバ設定
Syslog servers：本製品のログデータをサーバが受信する場合にチェックします。
Syslog server 1：プライマリ Syslog サーバの IP アドレスを入力します。
Syslog server 2：セカンダリ Syslog サーバの IP アドレスを入力します。（オプション）

ツリービューリストの「System」>「Log and Event Receivers」および「System」>「Date and Time」によっても設定できます。詳しくはユーザマニュアルを参照してください。

10. 設定ウィザードを終了する

「Activate setup」画面で「Activate」ボタンをクリックし、ウィザードによる本製品の設定を終了します。

以下の画面が表示され、新しい設定が保存されます。

11. 以下の画面が表示され、新しい設定の保存が完了します。
「Close」ボタンをクリックし、本画面を終了します。

上記画面が表示されず、認証ダイアログが表示された場合には、新しい設定のアクティブ化を完了するためには 30 秒以内にログインする必要があります。管理アカウントを変更している場合は、新しい管理アカウントでログインします。

30 秒以内にログインすると、以下の画面が表示され、本製品の設定は完了します。

設定が完了しなかった場合、本製品の以前の設定に戻ります。

3　その他の基本機能

本製品のその他の基本機能について説明します。

3.1 Web ブラウザ設定画面のオプションメニュー

Web ブラウザ設定画面メニューバーの「Maintenance」メニューには以下のオプションメニューがあります。

メニュー	内容
Update Center	IDS シグネチャとアンチウィルスシグネチャの更新または更新スケジュールの設定を行います。
License	ライセンスの詳細とアクティベーションコードを入力します。
Backup	設定内容のバックアップまたはリストアを行います。
Reset	再起動または工場出荷時設定に戻します。
Upgrade	ファームウェアを更新します。
Technical Support	本製品の設定内容をテキストファイルに出力します。技術サポートを受ける前にファイルの内容を確認してください。

詳しくはユーザマニュアルを参照してください。

3.2 工場出荷時設定に戻す

リセットボタンまたはキーパッドを使用して本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

1. 必要に応じて設定ファイルのバックアップを行い、本製品からログアウトします。

2. リセットする

リセットボタンを使用する（DFL-210/260/800/860）

製品の電源がオンの状態で、本体の背面にあるリセットボタンを 15 秒間押下します。

キーパッドと LCD パネルを使用する（DFL-1600/2500）

製品前面にある LCD パネルに「Press keypad to Enter Setup」と表示されたら、「Reset Firewall」を選択します。

3. 確認のメッセージが表示されたら、「Yes」を処理が終了するまでしばらく待ちます。

必ずご使用の製品の設定を保存してください。リセットボタンを押すと、すべての設定が消去されます。設定ファイルのバックアップおよびリスト方法につきましてはユーザマニュアルを 参照ください。

詳しくはユーザマニュアルを参照してください。

4　初期設定

DFL-210/260

前面パネルの記述	ファイアウォール内の名前	インタフェース定義	インタフェースのIPアドレス	DHCP ステータス
WAN	WAN	Static IP	192.168.110.254/24	無効
DMZ	DMZ	Static IP	172.17.100.254/24	無効
1～4	LAN	Static IP	192.168.1.1/24	無効

DFL-800/860

前面パネルの記述	ファイアウォール内の名前	インタフェース定義	インタフェースのIPアドレス	DHCP ステータス
WAN1	WAN1	Static IP	192.168.110.254/24	無効
WAN2	WAN2	Static IP	192.168.120.254/24	無効
DMZ	DMZ	Static IP	172.17.100.254/24	無効
1～7	LAN	Static IP	192.168.1.1/24	無効

DFL-1600

前面パネルの記述	ファイアウォール内の名前	インタフェース定義	インタフェースのIPアドレス	DHCP ステータス
1	WAN1	Static IP	192.168.110.254/24	無効
2	WAN2	Static IP	192.168.120.254/24	無効
3	DMZ	Static IP	172.17.100.254/24	無効
4	LAN1	Static IP	192.168.1.1/24	無効
5	LAN2	Static IP	192.168.2.1/24	無効
6	LAN3	Static IP	192.168.3.1/24	無効

DFL-2500

前面パネルの記述	ファイアウォール内の名前	インタフェース定義	インタフェースのIPアドレス	DHCP ステータス
1	WAN1	Static IP	192.168.110.254/24	無効
2	WAN2	Static IP	192.168.120.254/24	無効
3	WAN3	Static IP	192.168.130.254/24	無効
4	WAN4	Static IP	192.168.140.254/24	無効
5	DMZ	Static IP	172.17.100.254/24	無効
6	LAN1	Static IP	192.168.1.1/24	無効
7	LAN2	Static IP	192.168.2.1/24	無効
8	LAN3	Static IP	192.168.3.1/24	無効

管理設定

設定項目		設定内容
管理者アカウント	ユーザ名	admin
	パスワード	admin

5　保証とテクニカルサポート

製品に関する保証について

本製品には「製品保証書」が添付されています。所定事項の記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。本製品の保証は、この「製品保証書」に記載されている「保証規定」に基づいて行われます。

製品に関するお問い合わせについて

下記事項をご確認のうえ、事前にユーザ登録を行い弊社サポート窓口へお問い合わせください。

1. ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
2. 弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
3. ダウンロードサービスをご利用ください。
   - *　ダウンロードサービスをご利用になるためには必ずユーザ登録が必要です。
   - *　最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。
     http://www.dlink-jp.com/

お問い合わせに必要な情報

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の点についてお知らせください。

・製品名
・お買い上げ年月日
・シリアル番号（本体または箱に貼付）
・ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン
　（ファームウェア、ソフトウェアがある製品）
・ご使用環境（OS、周辺機器など）
・エラーメッセージ表示されている場合は、その内容をお知らせください。

個人情報のお取り扱い

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

日本国外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。
また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

廃棄方法について

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

商標について

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。
Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカの商標または登録商標です。

ご注意

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。
弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。
弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。
弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。